

The background of the left side of the slide features a collage of industrial machinery and components, overlaid with the Ferro Tec logo and a list of product categories in Japanese: 熱交換機・熱交換器 (Heat exchangers), 真空電機 (Vacuum electrical), 真空ポンプ (Vacuum pumps), and 真空乾燥機 (Vacuum dryers).

Ferro Tec

株式会社フェローテック
2009年3月期 決算説明会資料

2009年6月1日

(ジャスダック6890)

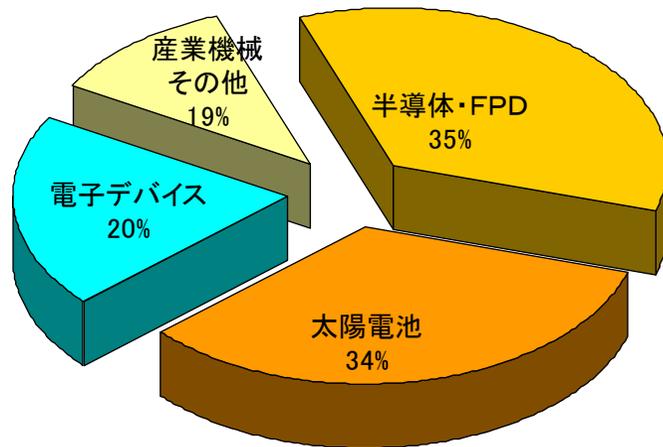
<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2008年1月～12月末の業績、フェローテック単体は、2008年4月～2009年3月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2009年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は2009年6月1日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

当社グループの産業別売上高

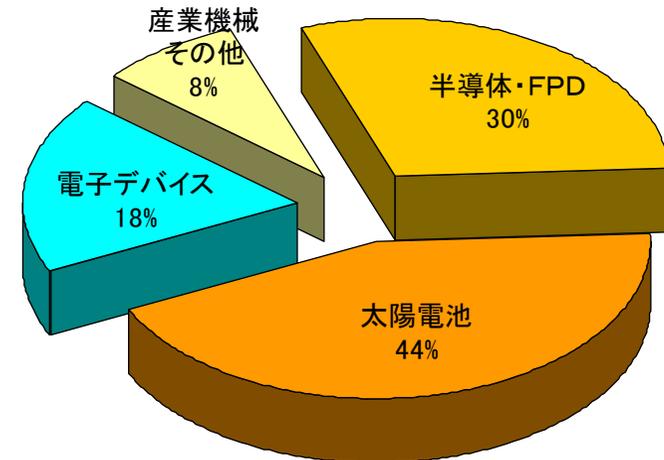
2009/3期

売上高 366億円



2010/3期 (計画)

売上高 305億円

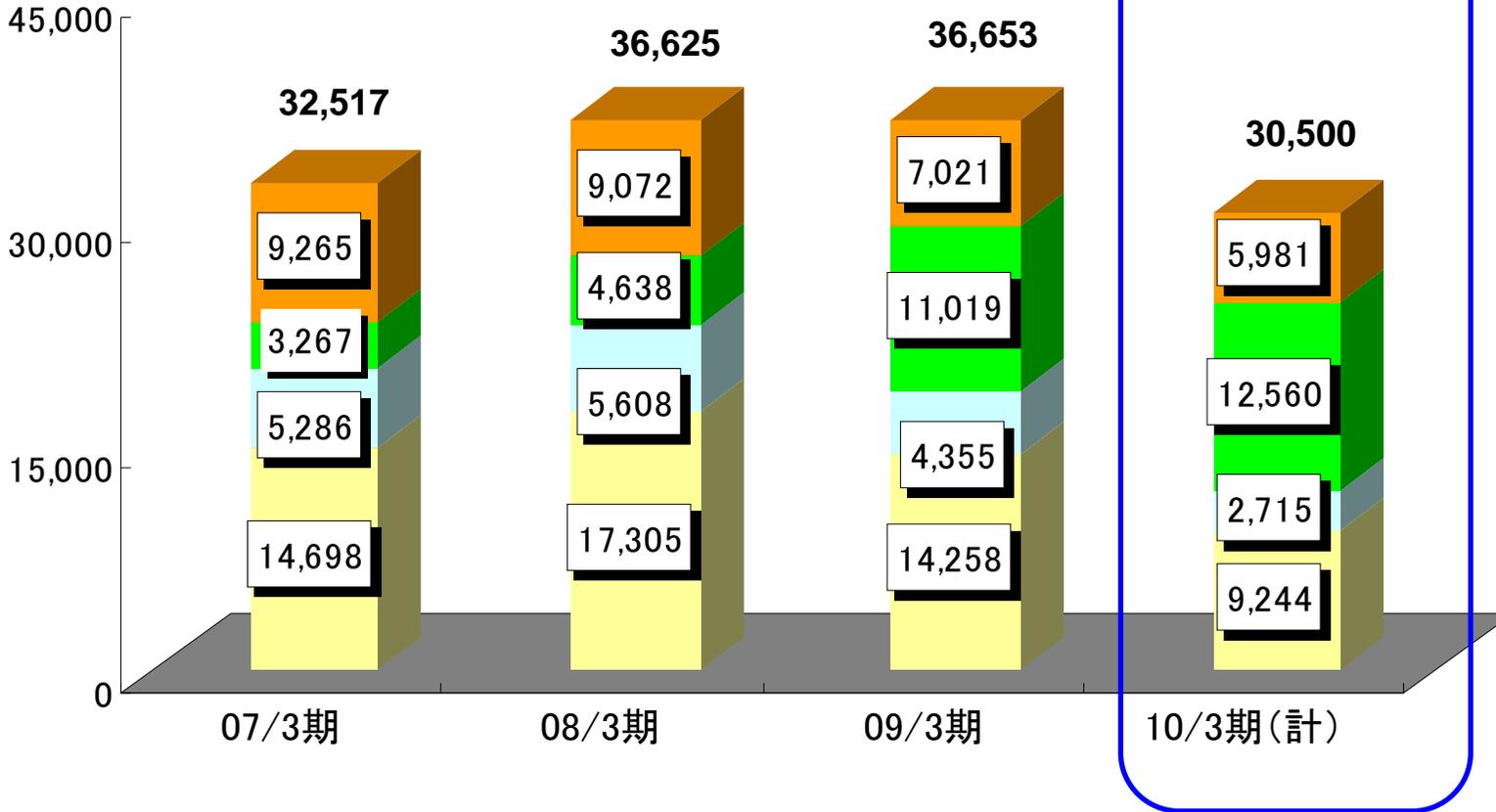


セグメントを越えた産業別販売先

セグメント別売上高の推移

年度売上高

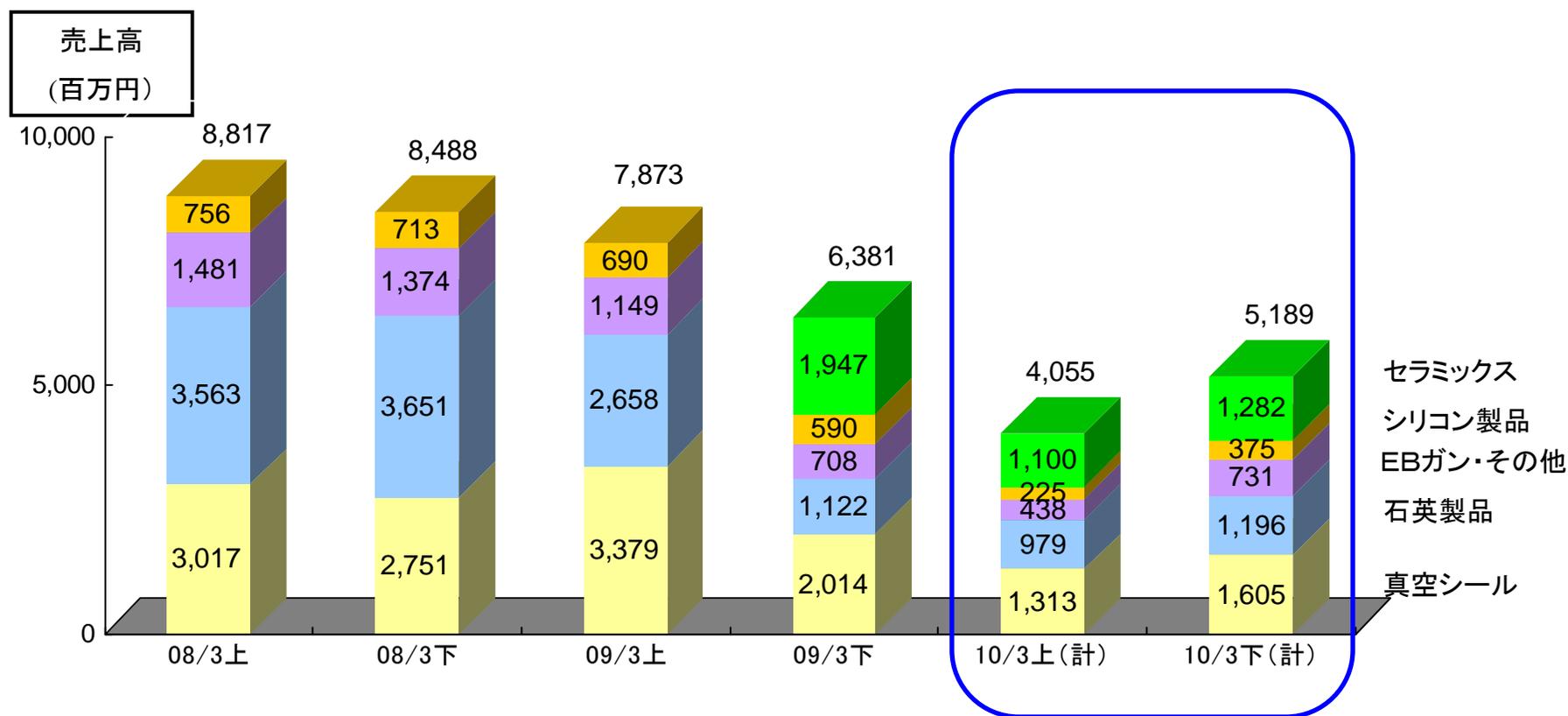
売上高
(百万円)



10/3期(計画) 構成比

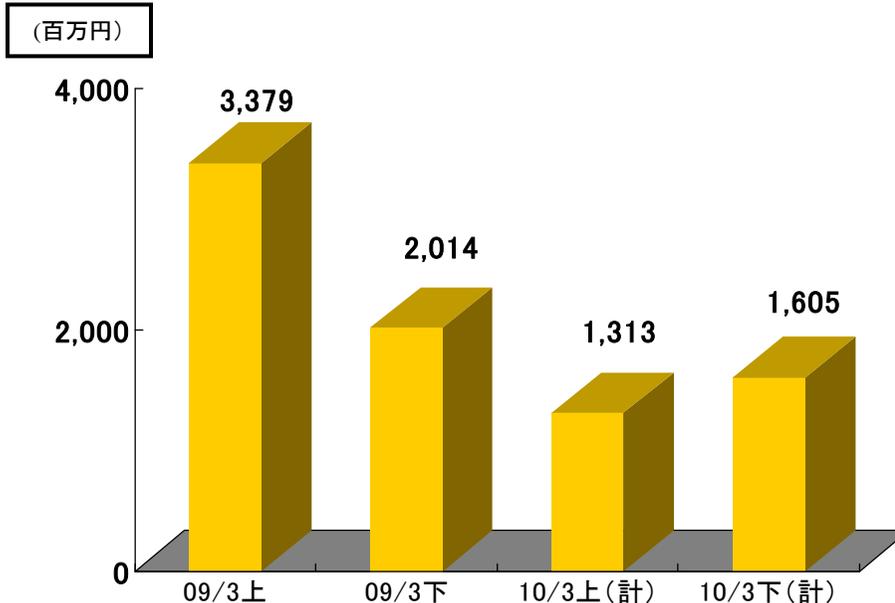
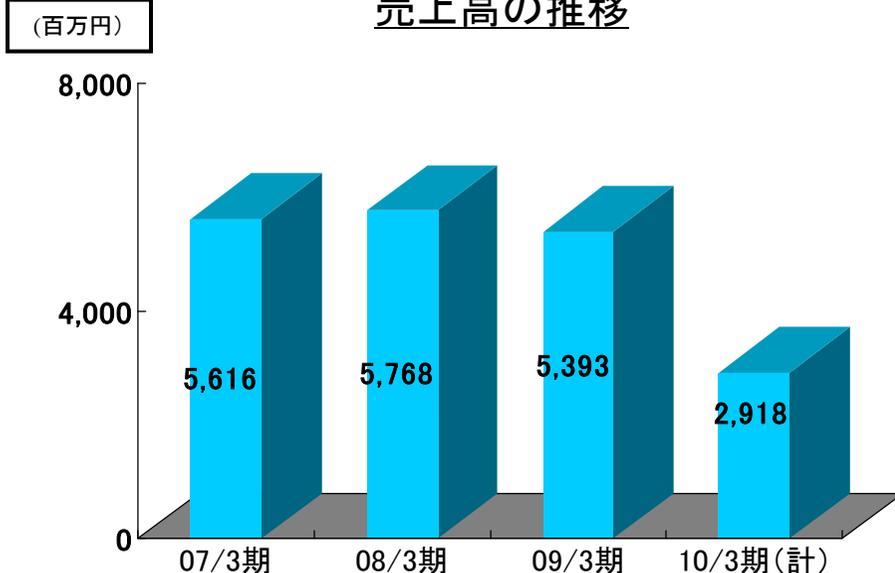
- CMS
19.6%
- 太陽電池
41.2%
- 電子デバイス
8.9%
- 装置関連
30.3%

09/3期下期よりセラミックスが追加



注)シリコン製品は、PV向けを08/3期より太陽電池セグメントへ移動して表示しております。

売上高の推移



1. 09/3期の業績

- ・ 半導体向けは、通年におよび低迷したまま、設備投資の凍結が長引いた
- ・ FPD向けは前半好調であったが、徐々に縮小
- ・ PV向けはシリコン系・薄膜系ともに好調を維持
- ・ 自動車向け、デジタル家電向けICの減産に加え金融危機後の生産調整の影響が拡大

2. 10/3期の見通し

- ・ 上半期は、徐々に生産調整が弱まると考えるが、設備投資の回復には至らず、当社は苦戦を予想
- ・ 中国市場での液晶パネル需要が拡大し、生産設備の稼働率上昇、FPD向けの受注回復に期待
- ・ PV向けは、一旦減少から回復に転じる

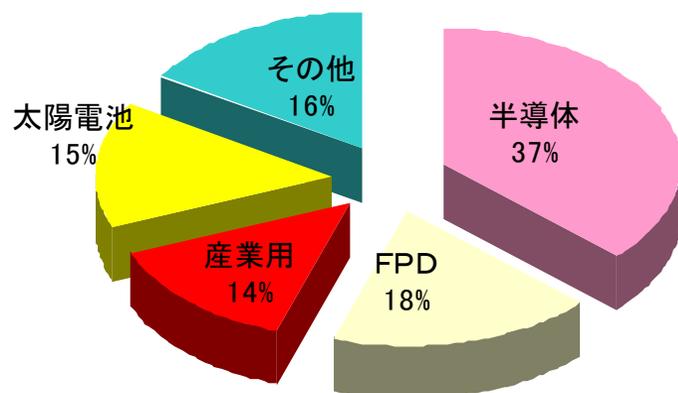
《対策》

- ・ 半導体以外への市場展開
- ・ サブ・アセンブリ品の供給
- ・ ワークシェアリング等による固定費圧縮

真空シール関連事業の販売先業種別シェア

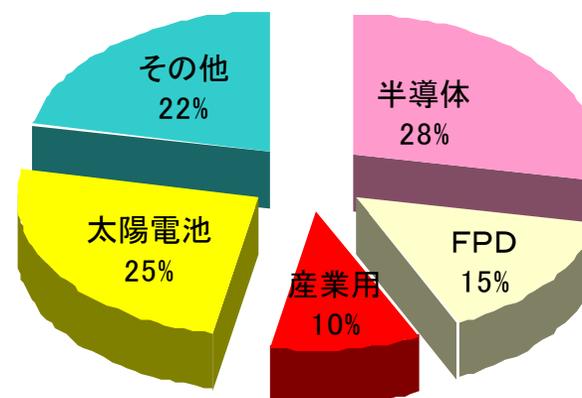
2008/3期

売上高 57.6億円



2009/3期

売上高 53.9億円

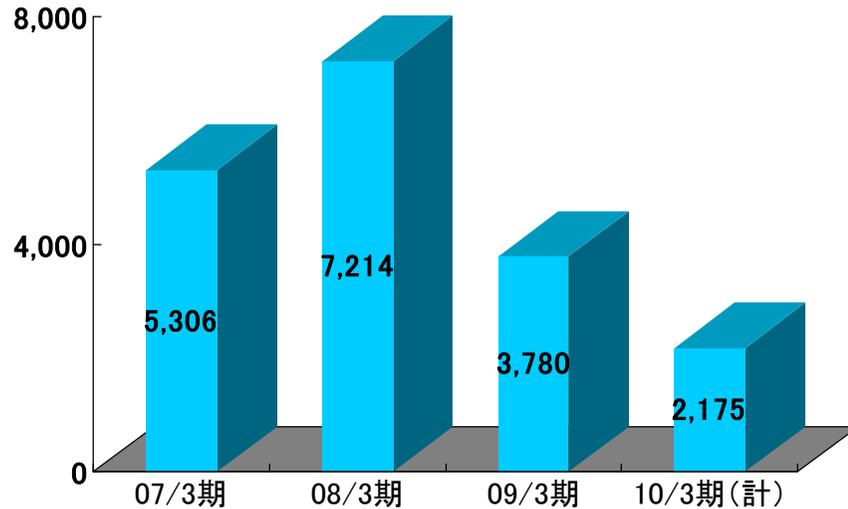


注) 産業用: 産業用真空装置、その他: 航空、医療、科学など

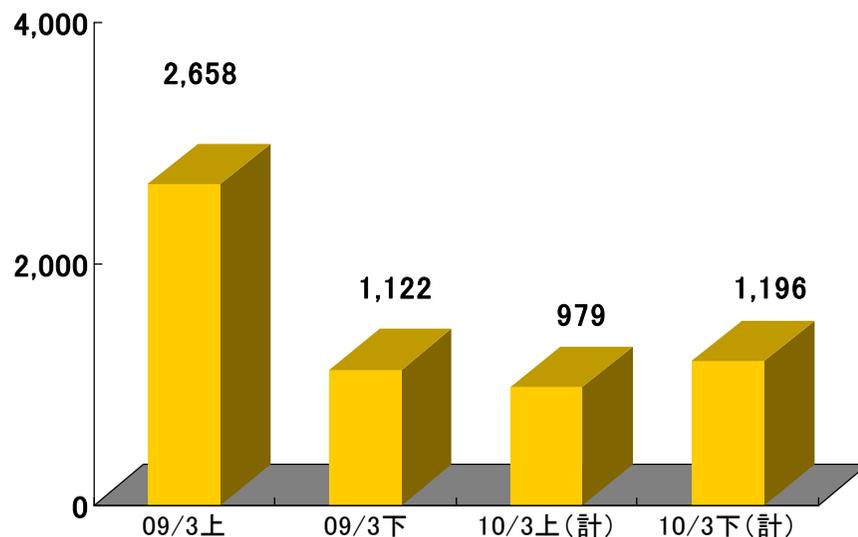
石英製品の状況と今後の見通し

売上高の推移

(百万円)



(百万円)



1. 09/3期の業績

- ・ 国内工場老朽化により発生したクリーン度低下のため、工場改修・設備更新を行い稼働率が低下
- ・ 下半期以降の半導体設備稼働率低下の影響による国内大手OEM向けの減少
- ・ 金融危機後は、世界中で生産調整が拡大

2. 10/3期の見通し

- ・ 設備稼働率は徐々に回復するも台湾・韓国勢が先行し、国内勢はやや遅れ気味
- ・ 国内大手OEMの回復は下半期以降と予測
- ・ 緩やかな市場回復を前提に計画
- ・ 米国大手OEM顧客からのベンダ一切替に期待

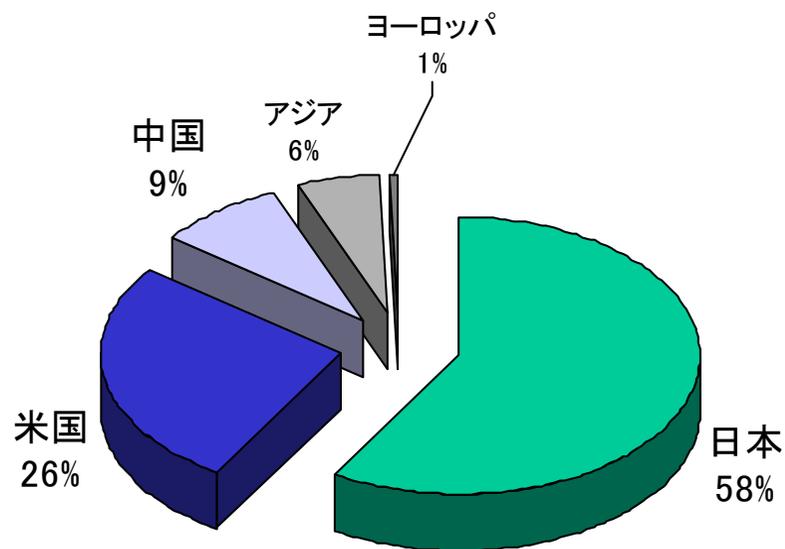
《対策》

- ・ 国内外工場の合理化と一時帰休により固定費を削減中
- ・ PV向け需要の開拓
- ・ 米国大手OEM顧客にベンダ一切替を打診中

石英製品の国別販売先シェア

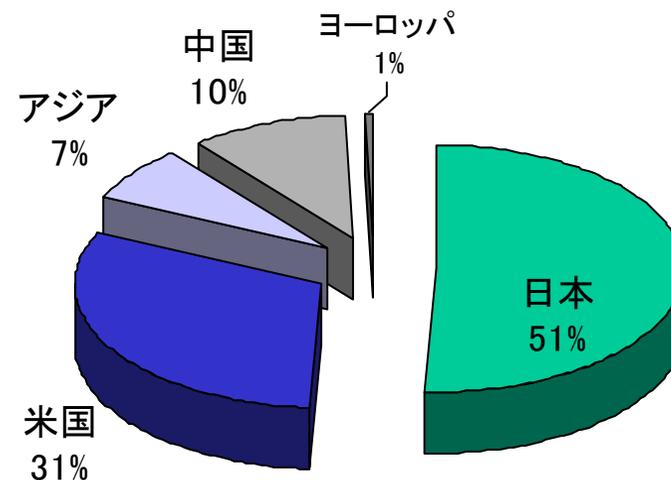
2008/3期

売上高 72.1億円



2009/3期

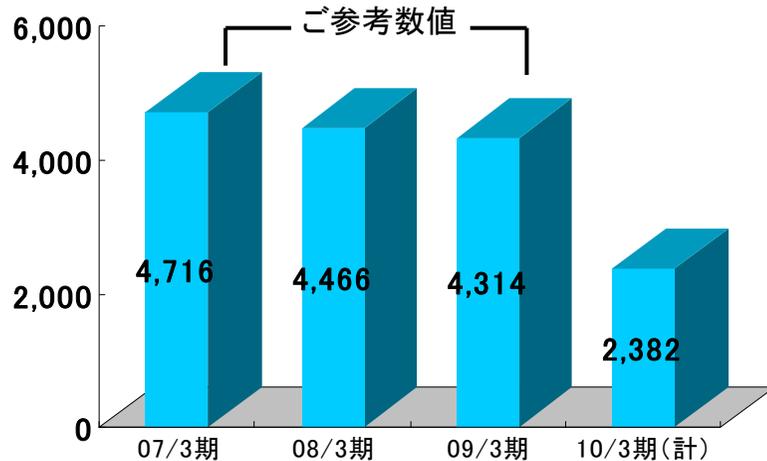
売上高 37.8億円



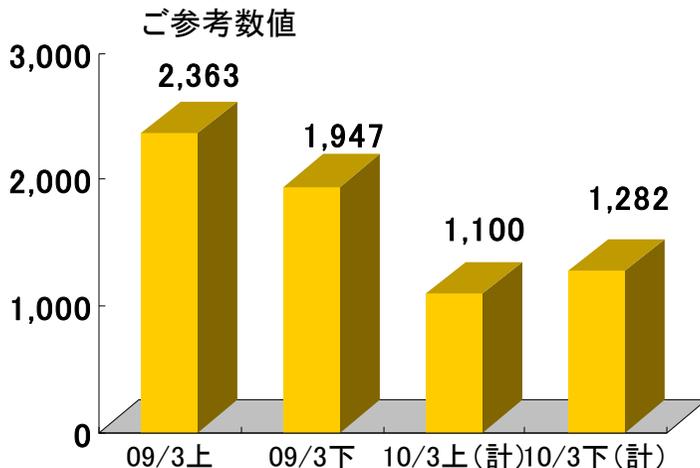
セラミックス製品の状況と今後の見通し

売上高の推移

(百万円)



(百万円)



1. 09/3下期の業績

- ・マシナブル・セラミックス “ホットベール”
IC市場08年秋よりの急激な環境悪化を受け、大幅生産調整局面へ突入（Wf回路検査治具用）
- ・ファインセラミックス
ICメーカー大幅減産・設備投資の先送りを受け、売上・受注はかつてない低水準で推移

2. 10/3期の見通し

- ・メモリー(フラッシュ) ・ LOGIC
穏やかな回復基調へ ⇒ ホットベール受注安定
- ・半導体装置
ICメーカー新規設備投資は、依然として慎重姿勢

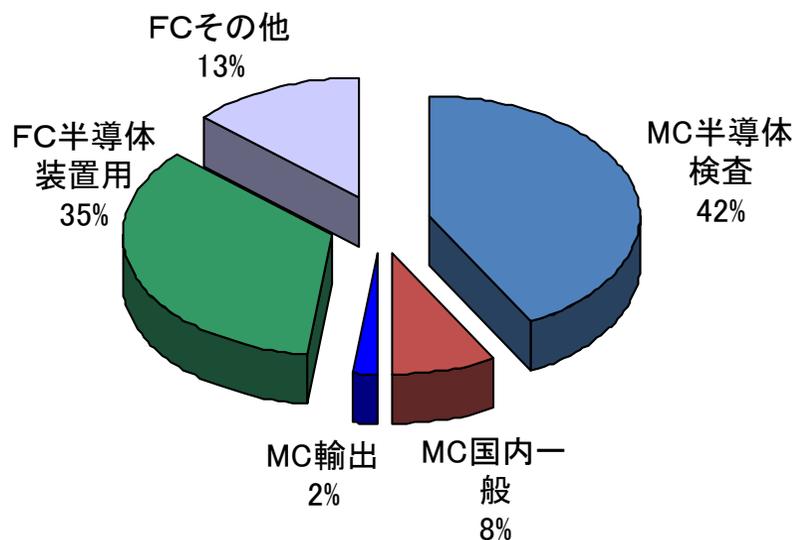
《対策》

- ・Wf回路検査治具の用途拡大
- ・当社アメリカ・シンガポールとの連携
⇒ 米国・アジア市場の新規顧客開拓強力推進中
(当社中国工場を活用し、競争力強化)
- ・当社各事業部とのコラボレーション営業継続

セラミックス製品の製品別販売シェア

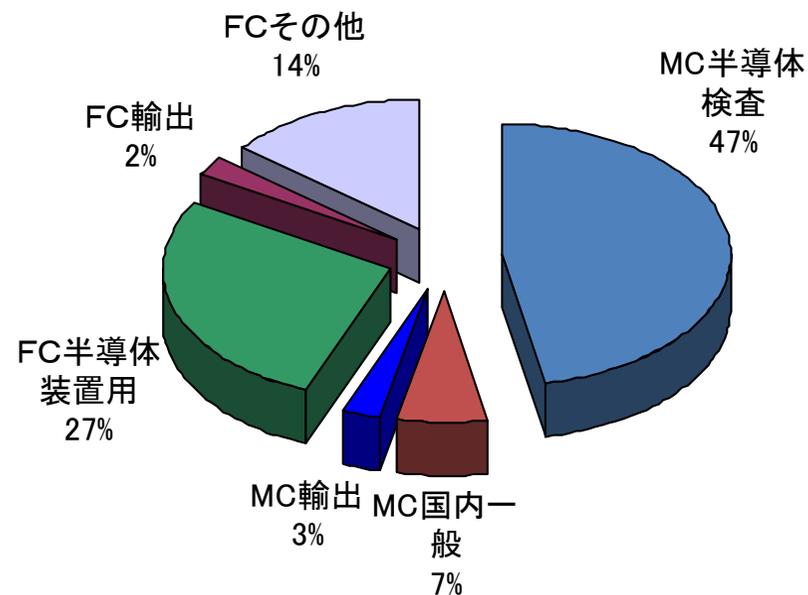
2009/3期 1-12月

売上高 43.1億円



2010/3期予想 1-12月

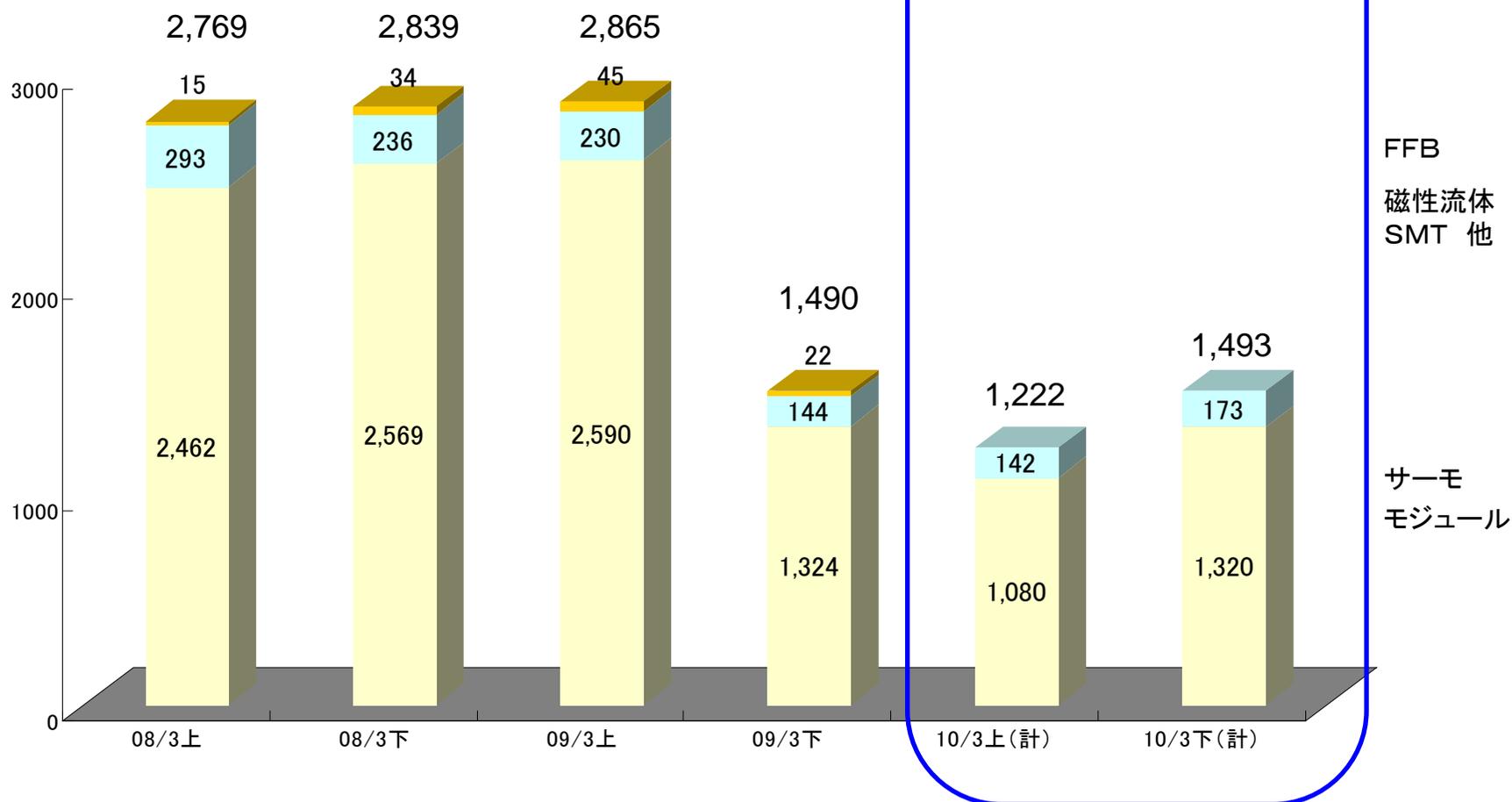
売上高 23.8億円



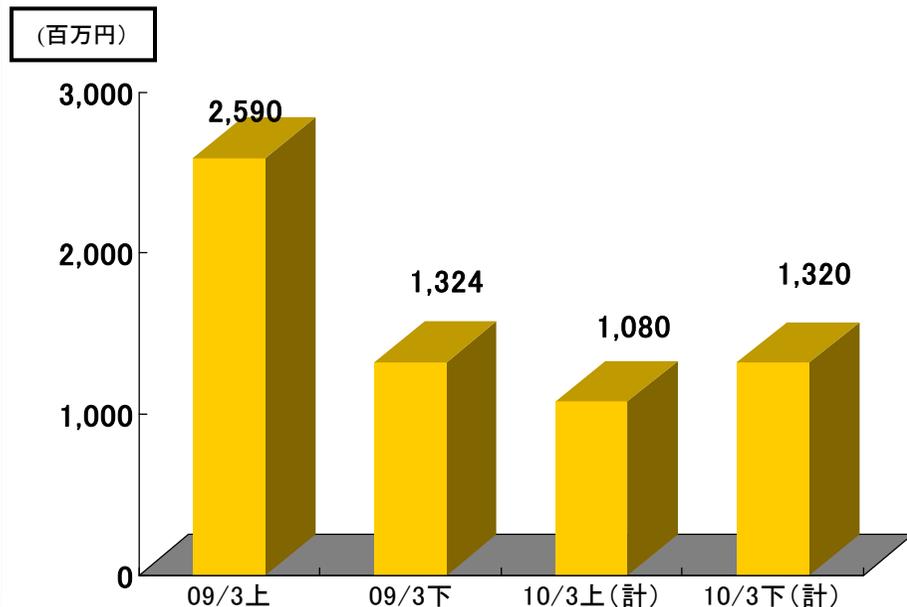
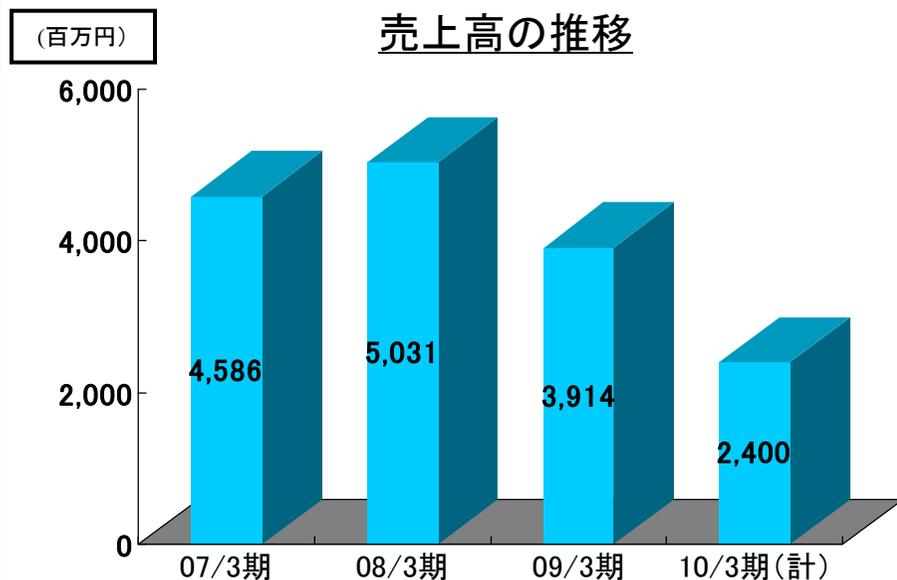
注)FC: ファイン・セラミックス、MC: マシナブル・セラミックス(ホトベール)

業種	顧客	状況
半導体	A社	A社仕様高純度アルミナ材料の開発に成功。FA出荷。
	AI社	製品受注。
	L社	スペアパーツ用にて認定作業。300mm用開発Itemsも引き合いあり。
	N社	500Itemsの見積り。FTをCeramicsのKey Supplierへ。
	V社	19ItemsのFA出荷。日中とも工場認定。
HDD	V社	FA出荷。6月に評価完了予定。
太陽光	S社	FAを6/Mに出荷。大型受注期待。

売上高
(百万円)



サーモモジュール製品の状況と今後の見通し



1. 09/3期の業績

自動車温調シート

- ・ 世界の自動車産業低迷による影響が一気に拡大

その他の産業

- ・ 国内ユーザー各社の期末在庫調整による影響

2. 10/3期の見通し

自動車温調シート

- ・ GM破綻の際の影響は避けられない状況
- ・ ヒundai向けは好調
- ・ 国内メーカー向けも在庫調整の影響により低迷

その他の産業

- ・ 医療機器向け、PCR検査装置など好調
- ・ 民生向けも好調維持
- ・ 半導体装置用は低迷

《対策》

- ・ 高性能品の投入により、光通信マーケットの開拓
- ・ 高付加価値製品と低価格品の品揃えで、バイオ、民生市場拡大

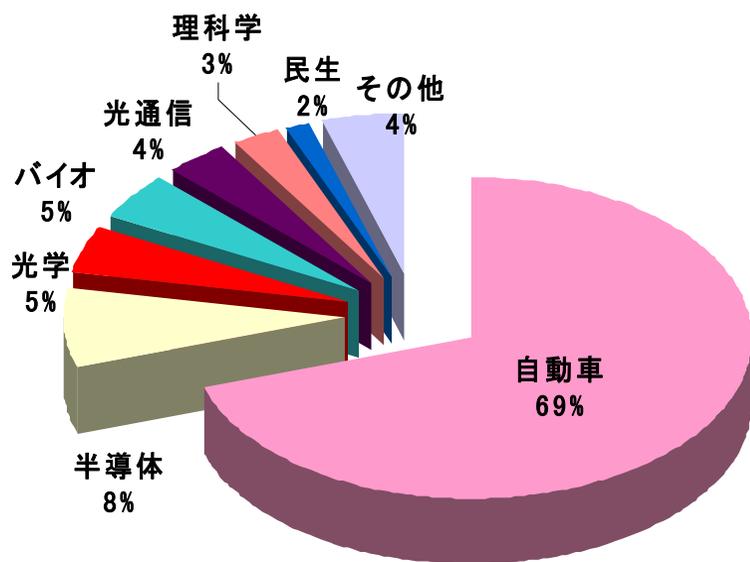


サーモモジュールの業種別販売先シェア



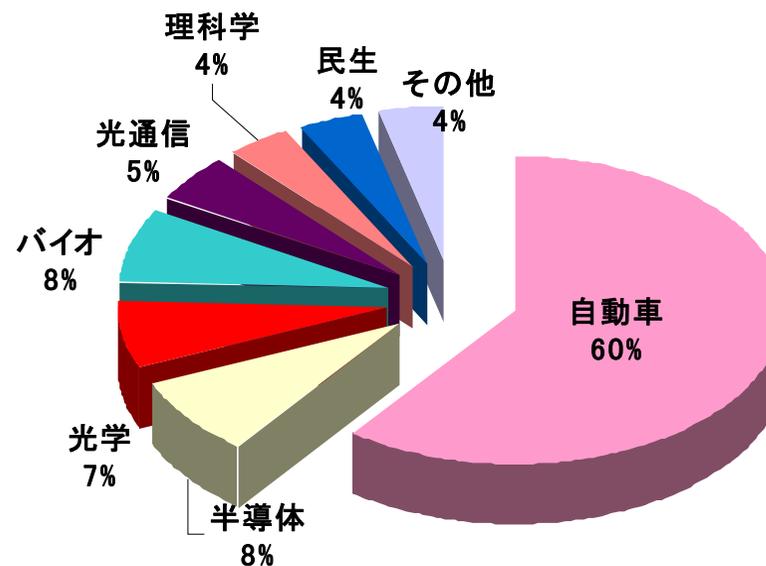
2008/3期

売上高 50.3億円



2009/3期

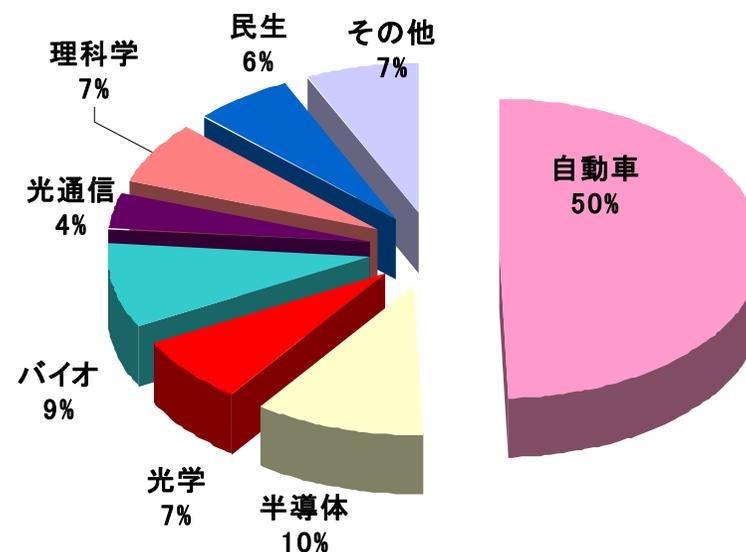
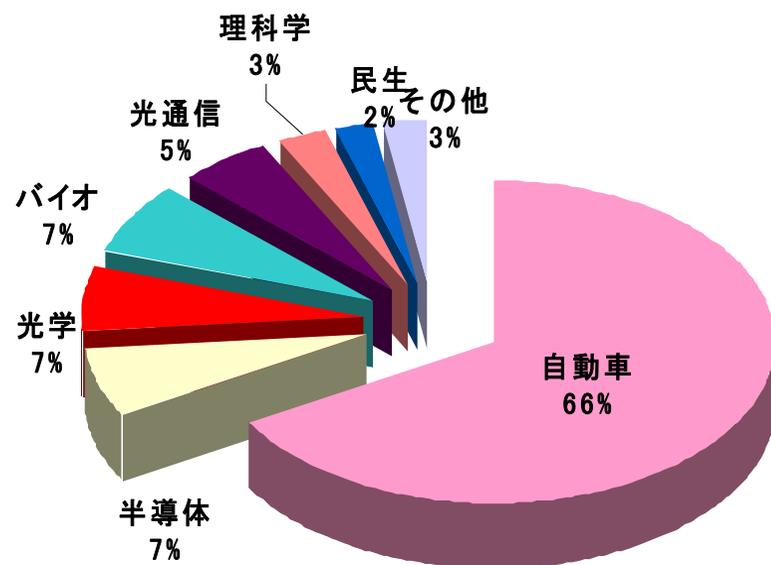
売上高 39.1億円



業種別販売先シェア 上期・下期比較

2009/3期 上期
売上高 25.9億円

2009/3期 下期
売上高 13.2億円



アメリカのCCS装着実績

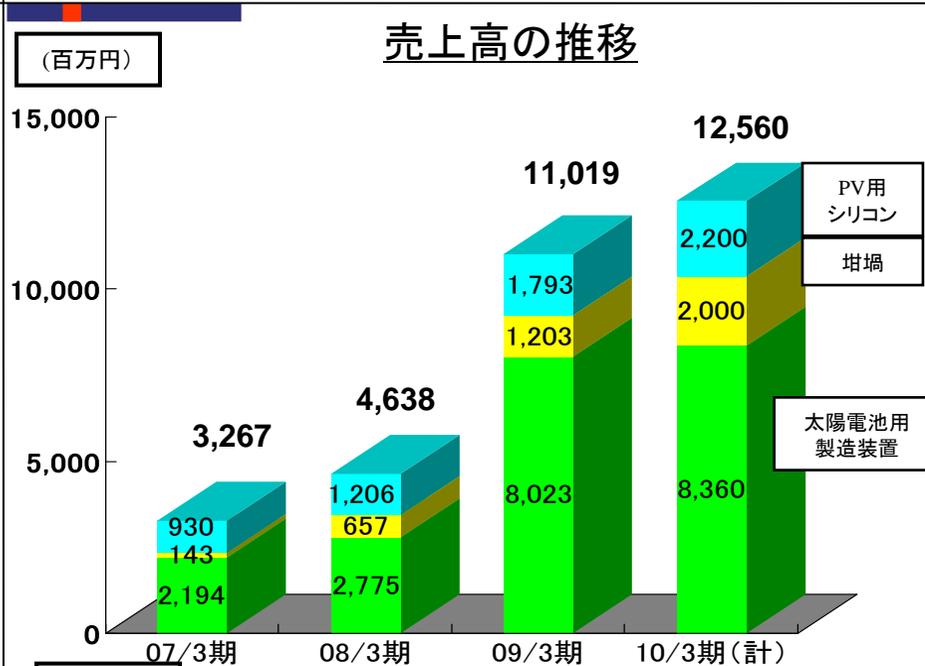
□ 米国、日本、さらに欧州メーカーもCCSを採用

CCS採用モデル(2009年3月現在・アメリカン社HPから抜粋)

モデル名	モデル名
1 Lincoln Navigator SUV	30 Nissan Infiniti FX35, FX50
2 Ford Expedition SUV	31 Nissan Maxima
3 Lincoln Aviator SUV	32 Jaguar XK
4 Lincoln LS luxury sedan	33 Lincoln MKT
5 Mercury Monterey minivan	34 Ford Taurus
6 Lincoln Zephyr luxury sedan	35 Toyota Crown Majesta
7 Cadillac XLR roadster	36 Infiniti G Convertible
8 Cadillac Escalad	
9 Cadillac Escalade EXT	
10 Cadillac Escalade ESV	
11 Cadillac DTS luxury sedan	
12 Buick Lucerne luxury sedan	
13 Hyundai Equus luxury sedan	
14 Infiniti M45 luxury sports sedan	
15 Infiniti Q45 luxury sedan	
16 Nissan Cima luxury sedan	
17 Nissan Fuga mid-sized sedan	
18 Lexus LS 430 luxury sedan	
19 Toyota Celsior luxury sedan	
20 Toyota Century luxury limousine	
21 Lexus LS 460 luxury sedan	
22 Lexus LS 460L luxury sedan	
23 Range Rover SUV	
24 Jaguar XJ Luxury sedan	
25 Lexus LS 600h L luxury hybrid sedan	
26 Jaguar XF Mid-size sports sedan	
27 Lincoln MKS	
28 Hyundai Genesis	
29 Lexus LX 570	



太陽電池関連事業



1. 09/3期の業績

太陽電池シリコン製造装置

- 金融危機後、新規受注は一時ストップとなる
- 出荷は計画から一部期ずれが生じたが、既に納品完了
- 多結晶製造装置の出荷を開始

PV用シリコン単結晶

- 電気抵抗値や寿命など高評価で順調に推移

2. 10/3期の見通し

太陽電池シリコン製造装置

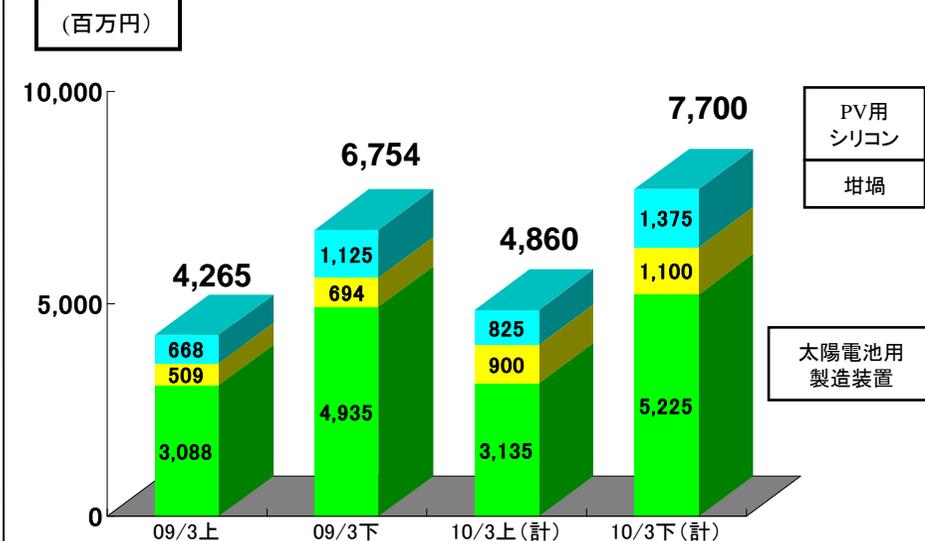
- 上半期は前年度受注残の消化で前期並みの計画
- 新規受注・引き合いは、再び増加に転じる

PV用シリコン単結晶

- 設備増設効果による増収を計画

坩堝

- 中国工場の増設効果による増収を計画
- 海外工場の展開を計画中（数値反映なし）



装置事業 + 消耗品・サポート事業による、安定的な収益体制

装置の拡販・メンテナンスの強化

多結晶製造装置

単結晶引上装置



二つの収益源

消耗品・サポート事業の拡大

坩堝(るつぼ)



収益の構造

ストック収益

【製造装置関連】
メンテナンスによる収益

【消耗品関連】
継続的な消耗品の供給
による収益

フロー収益

【製造装置関連】
装置の販売による収益

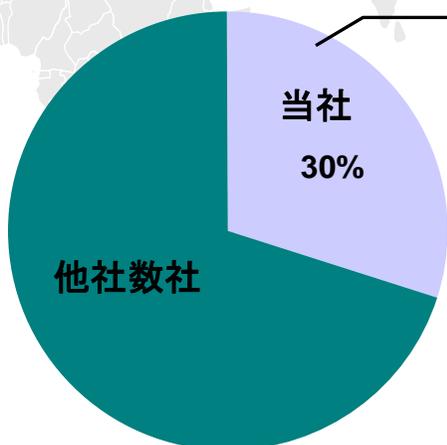
【消耗品関連】
稼働率の向上による、
消耗品の供給量の増加
による収益

納入台数の増加により、
消耗品の供給量も増加

新株予約権発行 資金調達の具体的な用途	投資予定額	開始予定時期
中国工場における生産能力の増強投資	約5億円	2009年7月頃
日米韓における海外工場新設	約15億円	
日本	1工場あたり 5億円程度	2009年10月頃
米国		2010年3月頃
韓国		2010年6月頃
その他 M&A資金の借入一部返済	約10億円	2009年12月頃

(リリース発表時の計画)

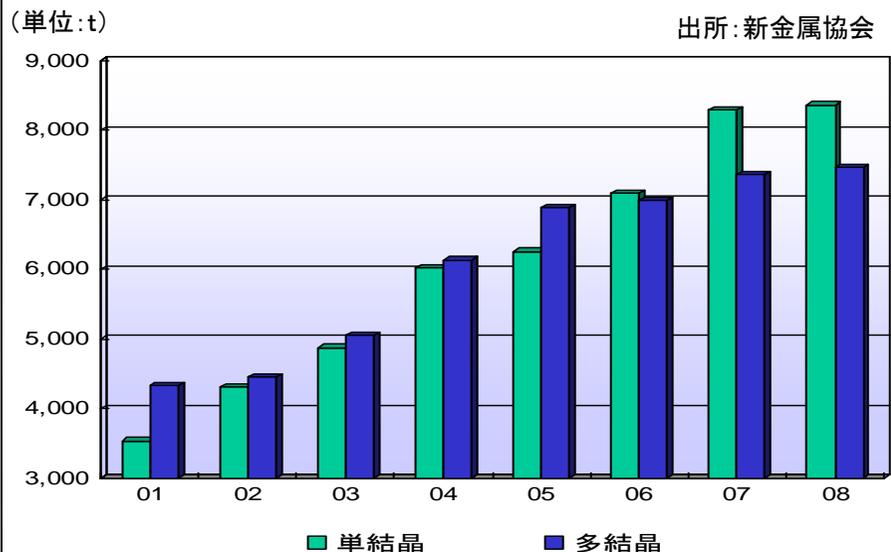
当社の単結晶製造装置の市場シェア



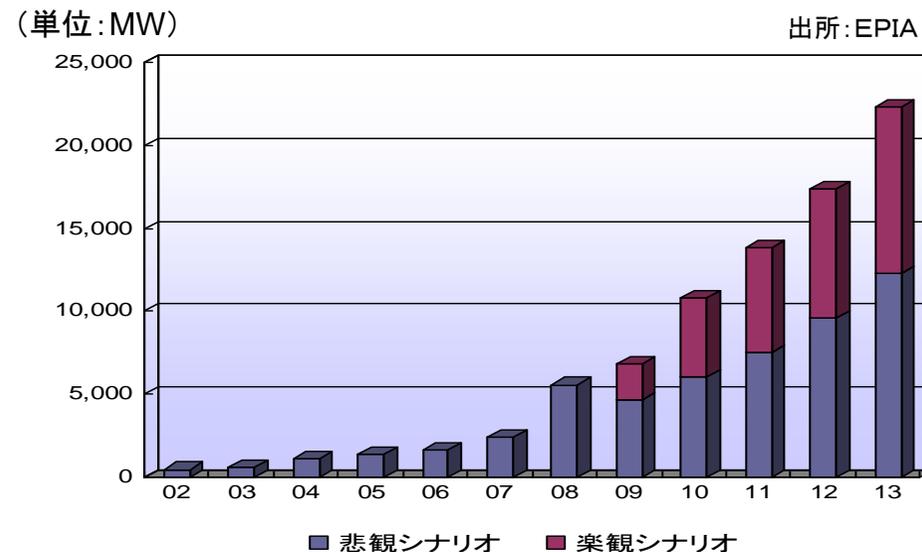
- 納入済みの製造装置分において見込まれる石英坩堝の需要: 90,000個/年
- 市場全体における、石英坩堝の需要: 300,000個/年 (当社シェアより推測)
- 現在の当社の供給量: 40,000個/年

- 中国工場の溶融炉設備増強 ⇒ 70,000個/年の供給体制を目指す
- 今後、各地域における工場の新設により現状の2~3倍の生産体制を見込む

単結晶・多結晶シリコンの国内生産量の推移



太陽電池産業の市場規模予測



主要国における再生可能エネルギーの導入促進施策

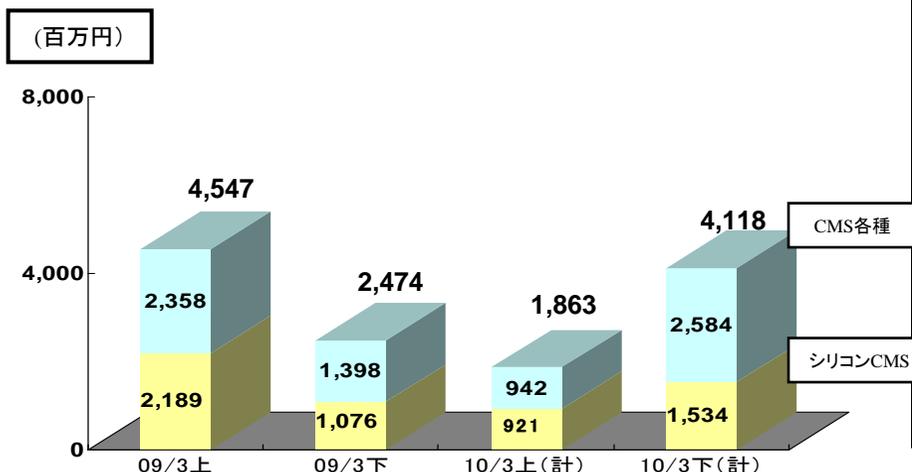
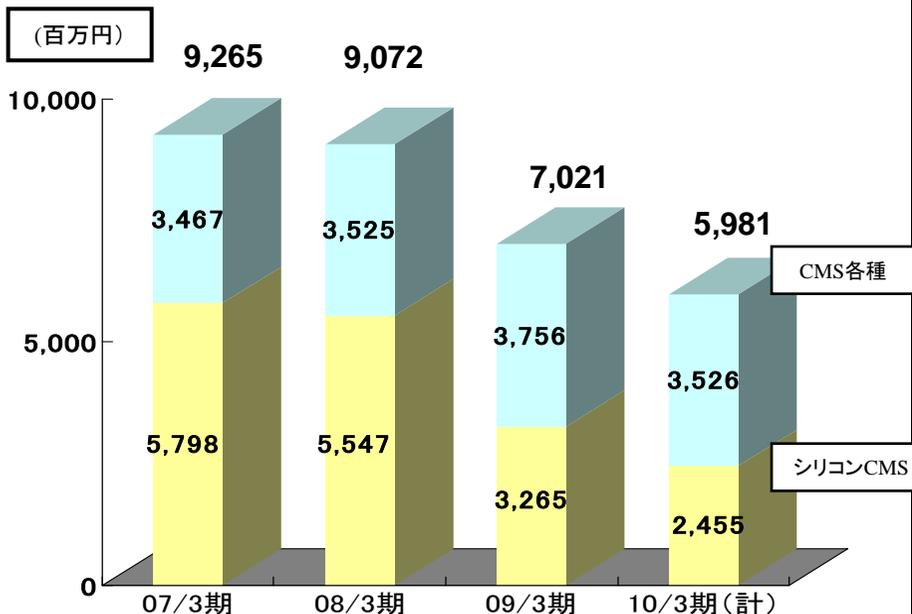
国名	施策等
日本	太陽光発電の余剰電力買取価格の引き上げ。2020年を目処に導入規模を現在の20倍に増やす
米国	再生可能エネルギーによる電力供給を2012年までに10%、2025年までに25%に拡大。生産税額控除を5年間延長
ドイツ	再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度を導入(1991年より)。導入コストに見合った支援レベルになるよう買取価格を見直し(2009年以降に運転開始する設備に適用)
スペイン	再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度を導入(1994年より)。エネルギー減別に累積導入量のしきい値を設定し、しきい値に達したエネルギー源の買取価格を見直す条項を設定
中国	建築への太陽光発電の適用拡大に向け、一定の条件を満たしたプロジェクトに対して助成金を配布(2009年より)



CMS事業の状況



売上高の推移



CMS事業内容： 受託製造品各種 & ウェーハ加工

1. 09/3期の業績

シリコンCMS(ウェーハ加工)

- ・ 半導体産業の低迷により、受託量も減少

装置部品洗浄

- ・ 同様に減少 (半導体・FPD装置部品)

工作機械製造・その他

- ・ 当社シリコン製造装置部門に人員をシフトし減産

2. 10/3期の見通し

シリコンCMS(ウェーハ加工)

- ・ 上半期まで現状の受託量

装置部品洗浄

- ・ 中国での液晶TV需要の拡大で回復を期待

工作機械製造・その他

- ・ 現状を維持・新規受注の引合い

太陽電池関連事業の更なる体制強化を目的とした資金調達プラン

<p>プランの内容</p>	<p>第3者割当てによる新株予約権発行（3月27日発表）</p>
<p>特徴</p>	<p>① 行使価額及び対象株式数の固定 （行使価額：1,017円 対象株式数：3,000,000株）</p>
	<p>② 行使指定条項 （行使にあたっては、当社の指定が必要）</p>
	<p>③ 取得条項 （一定の場合、当社判断により新株予約権の全部又は一部を取得可能）</p>

業績比較(08/3期と09/3期)(新セグメント)

(百万円)		08/3期実績		09/3期実績			
			構成比(%)		構成比(%)	増減額	増減比(%)
売上高		36,625	100.0	36,653	100.0	28	0.1
	真空シール・部品	5,768	15.7	5,393	14.7	△ 375	△ 6.5
	石英製品	7,214	19.7	3,780	10.3	△ 3,434	△ 47.6
	セラミックス	0	0.0	1,947	5.3	1,947	-
	シリコン製品・その他	4,324	11.8	3,137	8.6	△ 1,187	△ 27.5
	装置関連事業	17,306	47.3	14,257	38.9	△ 3,049	△ 17.6
	サーモモジュール	5,031	13.7	3,914	10.7	△ 1,117	△ 22.2
	磁性流体・FFB	578	1.6	441	1.2	△ 137	△ 23.7
	電子デバイス事業	5,609	15.3	4,355	11.9	△ 1,254	△ 22.4
	石英坩堝	657	1.8	1,203	3.3	546	83.1
	太陽電池用シリコン	1,206	3.3	1,793	4.9	587	48.7
	シリコン結晶製造装置	2,775	7.6	8,023	21.9	5,248	189.1
	太陽電池	4,638	12.7	11,019	30.1	6,381	137.6
	CMS事業	9,072	24.8	7,021	19.2	△ 2,051	△ 22.6
売上総利益		10,640	29.1	11,295	30.8	655	6.2
販管費		7,583	20.7	8,505	23.2	922	12.2
営業利益		3,057	8.3	2,790	7.6	△ 267	△ 8.7
経常利益		2,414	6.6	2,097	5.7	△ 317	△ 13.1
当期純利益		1,903	5.2	743	2.0	△ 1,160	△ 61.0
設備投資額		2,449	6.7	3,178	8.7	729	29.8
減価償却費		2,144	5.9	2,421	6.6	277	12.9

業績比較(10/3期上半期と下半期)

(百万円)

		10/3期上半期 計画		10/3期下半期 計画			
			構成比(%)		構成比(%)	増減額	増減比(%)
売上高		12,000	100.0	18,500	100.0	6,500	54.2
	真空シール・部品	1,313	10.9	1,605	8.7	292	22.2
	石英製品	979	8.2	1,196	6.5	217	22.2
	セラミックス	1,100	9.2	1,282	6.9	182	16.5
	シリコン製品・その他	663	5.5	1,106	6.0	443	66.8
	装置関連事業	4,055	33.8	5,189	28.0	1,134	28.0
	サーモモジュール	1,080	9.0	1,320	7.1	240	22.2
	磁性流体・FFB	142	1.2	173	0.9	31	21.8
	電子デバイス事業	1,222	10.2	1,493	8.1	271	22.2
	石英坩堝	900	7.5	1,100	5.9	200	22.2
	太陽電池用シリコン	825	6.9	1,375	7.4	550	66.7
	シリコン結晶製造装置	3,135	26.1	5,225	28.2	2,090	66.7
	太陽電池	4,860	40.5	7,700	41.6	2,840	58.4
	CMS事業	1,863	15.5	4,118	22.3	2,255	121.0
売上総利益		3,500	29.2	5,700	30.8	2,200	62.9
販管費		3,550	29.6	4,150	22.4	600	16.9
営業利益		△ 50	△ 0.4	1,550	8.4	1,600	-
経常利益		△ 150	△ 1.3	1,150	6.2	1,300	-
当期純利益		△ 150	△ 1.3	950	5.1	1,100	-